資料１（調査概要）

議題１　令和８年度実施予定の市民意識調査について

ひらつか男女共同参画プラン２０２４は、前期（令和６年度から令和９年度までの４年間）と後期（令和１０年度から１３年度までの４年間）に分けられております。令和８年度に、後期に向けた見直しのための基礎資料を得るに当たり、一般向けと若年層向けの市民意識調査をそれぞれ実施する予定です。

	一般向け調査	若年層向け調査
対象年齢	１８歳～７９歳	１３歳～１７歳
配布予定数	３，０００件	２００件
回答方法	郵送回収及び電子申請システム	
前回調査	令和４年９月	（初調査）

（１）回収率を上げるための工夫について　【封筒】令和４年度市民意識調査調査票（見本）

令和４年度市民意識調査調査票（見本）を参考にしていただき、経費をかけずに回収率を上げる工夫について御意見を伺います。

【参考】電子申請システムの回答画面　※レイアウトの変更不可



（２）一般向け調査について　【資料２】

① 指標を把握するための設問（変更予定なし）

指　標		プラン策定時	設　問
「固定的な性別役割分担意識」にとらわれていない市民の割合		（令和４年９月） ７２．７％	問２
基本方針１【意思決定過程におけるジェンダー平等の推進】			
１	市職員の管理職に占める女性の割合	（令和５年４月） １８．６％	
２	市審議会等における女性の割合	（令和５年３月） ２７．２％	
基本方針２【様々な分野における女性の活躍推進】			
１	子どもができてからも、女性が仕事を続けることについて、肯定的な考えを持っている市民の割合	－	【 新 規 】
２	保育所等における待機児童数	（令和５年４月） ６人	
基本方針３【ワーク・ライフ・バランスの推進】			
１	市役所における男性職員の育児休業取得率	（令和４年度） ２６．４％	
２	「ワーク・ライフ・バランスが実現できている」と思う市民の割合	（令和４年９月） ４８．５％	問６
３	未就学児を育てている夫婦世帯において、「育児・子育て」は「夫婦同じくらい分担している」と回答した市民の割合 【市総合計画「重点戦略」において数値目標を設定】	（令和４年９月） １７．９％	問７
４	イクボス認定事業所数	（令和５年４月） ４８社	
基本方針４【心とからだを大切にする環境づくりの推進】			
１	ＤＶの相談ができる窓口を一つでも知っている市民の割合	（令和４年９月） ５６．４％	問１１
２	ＤＶ（身体的、精神的、社会的、経済的、性的）の行為を全て暴力だと思う市民の割合	（令和４年９月） ８６．９％	問９
３	妊婦健診の受診率	（令和４年度） ９７．５％	
４	平塚市パートナーシップ宣誓制度を知っている市民の割合	（令和４年９月） ９．８％	問１５

② 統計数値を把握するための設問（変更予定なし）

統　計	プラン策定時	設　問
マタニティ・ハラスメントという言葉を知っている市民の割合	（令和４年９月） ７９．２％	問３－１２
ＤＶ（身体的、精神的、社会的、経済的、性的）の行為をされたことのある市民の割合	（令和４年９月） ５．７％	問１０ 「された」

③ 指標を把握するために新規に設ける設問

指　標	「子どもができてからも、女性が仕事を続けることについて、肯定的な考えを持っている市民の割合」
設　問 （案）	「子どもができてからも、女性が仕事を続けることについて、どう思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。」 ①　仕事を続けるべき ②　どちらかというと仕事を続けるべき ③　どちらかというと仕事を続けるべきではない ④　仕事を続けるべきではない
	③または④と回答した方のみにうかがいます。その理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。 ①　育児・子育てに専念するため、仕事を続けるべきではない ②　職場や同僚に迷惑がかかるため、仕事を続けるべきではない ③　家庭を守るため、仕事を続けるべきではない ④　その他（　　）

④ 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく計画を盛り込むに当たり、新規に設ける指標及び設問

指　標 （案）	「日々の生活に悩みや課題を抱える女性を社会全体で支援できている」と思う市民の割合
設　問 （案）	「日々の生活に悩みや課題を抱える女性を、社会全体で支援できていると思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。」 ①　そう思う ②　どちらかといえばそう思う ③　どちらともいえない ④　どちらかといえばそう思わない ⑤　そう思わない ⑥　わからない

※参考：令和６年度（２０２４年）神奈川県『県民ニーズ調査』（第２回課題調査）
２０２５(令和７)年版神奈川県の男女共同参画年次報告書

（３）若年層向け調査について　【資料３】

後期に向けた見直しのため、若年層の意識や実態も取り入れるに当たり若年層向けの調査も実施する予定です。一般向けと若年層の回答結果を比較するため、同じ設問も設けておりますが、文章表現を易しくして、必要に応じてルビを振ります。また、用語の説明も別途作成します。